



2024 年度  
第 49 号

# 体育市民連帯 ニュースレター

1  
政権退陣の  
長い冬の前に立ち  
体育市民連帯



大韓民国スポーツの

根本的变化を

皆さんと共に

作って行きたいです

体育市民連帯と共に

していただけませんか？

2  
李ギフン大韓体育会長  
「職務停止」続く…  
執行停止  
申請棄却



3  
「戒厳のおかげで無関心」  
李ギフン  
鄭モンギョ  
このまま続投する可能性



4  
大韓体育会長  
候補 4 人  
一本化の大枠で合意  
23 日までに結論

5  
許ジョンム  
「鄭夢奎公正委  
審査評価表  
委員名簿を公開すべき」



\*

6  
社会変化の  
根幹  
記憶する力

7  
市道民球団は  
なぜ存在しなければ  
ならないのか

## 01 政權退陣の長い冬の前に立ち



尹錫悦大統領の突然の非常戒厳宣言は、誰にも理解できない国政運営の終わりを見せた。さらに、「武装戒厳軍 280 人余りの国会進入は、確固たる民主主義の垣根の中で平和な日常を送った国民に大きな衝撃を与えるに十分だった。

尹錫悦大統領をはじめとする非道な政權の権力者たちは、民主主義を深刻な脅威に直面させ、これによって常識に基づいた韓国社会の価値観は崩壊しつつある。権力者の非常識な権力欲の中にだけ存在する常識の基準は、社会のあちこちをため息で満たしていった。

政治と経済、そして人権は終わりを知らないほど墜落し、これを打開する政府の人事は到底納得できない不合理な人々だけで満たされた。このような混乱の中で、体育界も不公正と非常識に染まり、いったい改革が何なのかさえ曖昧な時代に突き進んだ。

これに対し体育市民連帶は、正していかなければならない体育界の非常識と不公正だけに留まるのではなく、政權退陣の大きな波に共にしようと思う。私たちはこのように自ら進んで政權退陣の長い冬を迎えようとし、必要な連帶と闘争を共にしていこう。

**体育市民連帶**

## 02 連合ニュース 2024. 12. 13

### 李ギフン大韓体育会長、「職務停止」続く…執行停止申請棄却



李ギフン(69) 大韓体育会長が文化体育観光部の職務停止通知に不服として裁判所に提出した執行停止申請が受け入れられなかった。

行政訴訟の本案結果が出るまでひとまず職務停止状態は継続維持される。

13日、法曹界によると、ソウル行政裁判所行政14部(ソン・ガクヨプ部長判事)は、李会長が文体部を相手に出した職務停止処分に対する執行停止申請を棄却した。

これに先立ち、文体部は先月11日、国務調整室・政府合同公職服務点検団(点検団)の調査結果を基に、李会長に職務停止を通知した。

点検団は職員の不正採用、物品後援要求、後援物品の私的使用などの理由で李会長などを警察に捜査依頼した経緯がある。

これに対し李会長は翌日の12日、ソウル行政裁判所に職務停止取り消し訴訟と執行停止申請を出した。

行政訴訟で出す執行停止申請は民事訴訟で出す仮処分申請と類似した概念だ。

同日、体育会・スポーツ公正委員会は全体会議を開き、李会長の3度目の任期挑戦申請を承認した。

一方、李会長は職務停止中に出勤して業務を強行したことが知られ、規定違反の議論が提起された。

出典：<https://www.yna.co.kr/view/AKR20241213060800004?input=1195m>

## 03 スポーツ韓国 2024. 12. 17

### 「戒厳のおかげで無関心」李ギフン・鄭モンギョ、このまま続投する可能性



時局が戒厳政局に入り、国民の神経が政治と汝矣島、龍山に集中している。このような状況にもかかわらず、大韓体育会と大韓サッカー協会長の選挙は流れ続けている状況だが、最も火力の強い政界では全く気にかけることができなくなった。結局、このような状況に乗じて、李ギフン大韓体育会長と鄭モンギョ大韓サッカー

協会会長が有力視されている状況だ。

大韓サッカー協会は来年1月8日、サッカー協会長選挙を行う。現在出馬の意思を明らかにしたのは、すでに当選3回の鄭モンギョ現会長、許ジョンム元国家代表チーム監督、辛ムンソン教授だ。

大韓体育会も来年1月14日、ソウル松坡区のオリンピック公園・オリンピックホールで行われる。イ・ギフン現会長が3連任に挑戦し、カン・シンウク檀国大学名誉教授、柳承敏、元大韓卓球協会会長、カン・テソンソウル市体育会長、アン・サンス元仁川市長、キム・ヨンジュ元江原道体育会事務処長、オ・ジュヨン元大韓セパタクロ協会会長などが出師の表を明らかにした。

国民的に鄭モンギョ大韓サッカー協会会長と李ギフン大韓体育会長が再任することに対する反感が強い。2人とも国政監査で大きな指摘を受け、重懲戒を要求されたのはもちろん、以前以降もあらゆる論議を作り出し、国民的叱責を受けた。

にもかかわらず、スポーツ公正委は2人の出馬を承認し、2人の会長はいずれも選挙に出ることになり、当選の有力候補だ。



鄭モンギョ会長の場合、3選も当選し、財閥会長、サッカーに多くの影響を及ぼす現代家という点で、他候補に比べてリードしている。

大韓体育会長は、あまりにも多くの他候補群が乱立し、一本化されない場合、結局、長い間支持基盤を築いた李ギフン会長が有力だというのが体育界の見方だ。

その上、鄭モンギョ-李ギフン会長を牽制する最も大きな勢力だった政界が現在戒厳政局に入り体育界に最初から気を遣えない状況になってしまった。実際、体育界の声を多く出していた国会議員の消息が途絶えた状況だ。

国政混乱の状況が鄭モンギョ-李ギフン会長らにとってはチャンスになったわけだ。

選挙まで3週間ほどしか残っていない状況で、野党では候補一本化も実現しなかったが、戒厳政局によって外部攻撃まで緩んだ。このまま鄭モンギョサッカー協会長の4選、李ギフン大韓体育会長の3選が可能な状況に流れている。

出典：<https://sports.hankooki.com/news/articleView.html?idxno=6884087>

## 04 SBS 2024. 12. 17

### 大韓体育会長候補 4 人、一本化の大枠で合意・・・23 日までに結論



李ギフン（69）大韓体育会長の3連任に反対する体育会長候補らが一堂に会し、「一本化」という大枠で合意しました。

第42代体育会長に出馬する意思を明らかにした8人の候補のうち、朴チャンボム（55）前大韓ウシュ協会会長と姜シンウク（68）檀国大学名誉教授、柳承敏（42）前大韓卓球協会会長、安サンス（78）前仁川市長ら4人は17日午後、ソウル麻浦区のホテルナルソウルで緊急会合を開き、候補一本化を進めることにしました。

来年1月14日の体育会長選挙を控えて24、25日に候補登録を終えてこそ選挙運動が始まるので、今回の出会いは一本化共感帯を確認することに焦点が合わせられましたが、一本化に原則的に合意しました。

これらの候補は2時間余りの会議の末に行った合同インタビューで2つの合意事項を発表しました。

国民と体育関係者が望む候補一本化を成し遂げるといふことと、候補登録の前日の23日までにわずかな立場の差を解消した後、最終的に決めて話すということです。

今後、異見を調整するために何度か会うことにし、この日の会合に出席しなかった姜テソン（75）ソウル市体育会長と呉ジュヨン（39）前大韓セパタクロー協会会長らとも接触する予定です。

世論調査を含め、一本化に向けた具体的な方法論は、あらゆる可能性を開いて議論を続けることにしました。

候補たちは1時間余りの全体会議に続き、カン・シンウク-柳承敏候補とパク・チャンボム-アン・サンス候補がそれぞれ別途会議を持った後、再び集まって追加議論を進めました。

候補たちは会議前の冒頭発言で、李ギフン氏の3選阻止に向けた一本化に意欲を示しました。

4年前に野党候補一本化を試みたが失敗に終わった経験があるカン・シンウク候補は「（一本化を）始めるという意味で集まったが、他の（候補）方々もお招きして意見を交わしてほしい」とし「変化に対する体育界の熱望が大きいだけにうまく解決してほしい」と希望しました。

続けて発言に出たアン・サンス候補は「今回のように体育会長選挙が国民的な関心があったことはない」とし「国民が望む正しい候補になるには私たちが心を集めて一本化を成し遂げなければならない」と強調しました。

国際オリンピック委員会（IOC）選手委員出身の柳承敏候補は「体育界の熱望が大きい状況で立派な方々と席を共にすることができて胸がいっぱい」とし「候補登録まで時間が残っているので体育界発展のための多様なテーマについて意見を交わしたい」と話しています。

一方、李ギフン現会長は候補登録の前日の23日前後に出馬会見を行う予定だということです。

出典：[https://news.sbs.co.kr/news/endPage.do?news\\_id=N1007915976&plink=ORI&cooper=NAVER](https://news.sbs.co.kr/news/endPage.do?news_id=N1007915976&plink=ORI&cooper=NAVER)

## 05 京仁日報 2024. 12. 10

### 社会変化の根幹，記憶する力



人間の「記憶」に関する相反する主張がある。スペイン系アメリカ人哲学者ジョージ・サンタヤナは「過去を記憶できない者はそれを繰り返す運命」と記憶の重要性を語った。これとは反対にポーランド系米国小説家のショレム・アッシュは「記憶する力ではなく忘れる力こそ私たちが生きていくのにさらに必要なこと」と主張した。

個人の人生において、この二つの力はすべて必要だ。過去に行った自分の過ちを繰り返さずに成長するために、過ちを忘れてはならない。ところが、ミスをしきりに記憶して萎縮してしまう罠に陥らないために、忘れることも知らなければならない。

個人の人生は記憶と忘却の二つの力が全て必要だ。しかし社会問題を認知し、解決していく社会的人生は「ただ」忘れずに記憶する力だけが必要だ。

尹錫悦大統領の12月3日の戒厳令宣布と解除以後、今回の事態で政治、経済、社会的混乱を起こしたことに責任あるすべての者が応分の代価を払うように私たちは国民の義務を遂行しなければならない。

ところが、人々の関心が大部分この事件に集中し、今年ずっと指摘されていた大韓体育会の李ギフン会長と大韓サッカー協会の鄭モンギョ会長の問題が次第にうやむやになり、非常政局の中で、李会長の3期目の再任と鄭会長の4期目の再任が起こりかねない危機が生じた。

11月10日に国務調整室政府合同公職服務点検団は大韓体育会を対象に不正有無点検結果を発表し職員不正採用、物品後援要求(金品など授受)、後援物品の私的使用などの理由で李会長を捜査依頼した。

文化体育観光部(文化部)は「公共機関の運営に関する法律」に基づき、李会長の不正容疑について捜査機関に捜査依頼し、李会長の職務を停止した。

ところが文化部が李会長の職務を停止させた翌日に大韓体育会傘下のスポーツ公正委員会は李会長の3期連続再任を承認し、社会的指弾を受けた。

12月5日、国際オリンピック委員会(IOC)の発表により、李会長は年齢制限でIOC委員の任期を延長できなくなり、3選挑戦に打撃を受けた。

ところが、今回の戒厳令事態で柳インチョン文化部長官が辞任する予定であり、政局の不安定性のため、大韓体育会問題がうやむやになる恐れがあるという懸念が出ている。24~25日の候補登録まで李会長が3選再任で出馬するか関心を持って見守らなければならないだろう。

一方、今年2月から大韓サッカー協会（以下、サッカー協会）に対して国家代表監督選任をめぐる議論が激しくなると、文化部は7月からサッカー協会運営全般に関する監査を行い、11月5日に監査結果を発表し、鄭会長に資格停止以上の重懲戒を勧告した。

しかし、鄭会長は勧告に同意しにくいと主張し、11月29日に4期連続再選に挑戦すると発表した。そして同日、鄭会長はスポーツ公正委員会に再任審査を要請し、現在結果を待っているところだ。

昨今の非常事態の中で、スポーツ組織の問題解決が最高優先順位にならない可能性もある。今回、大韓体育会や畜協問題が一気に解決できなくても、今年の監査結果から出た問題が何だったのか、この問題を起こした責任者が誰だったのか忘れないだろう。

1989年に英国で起きたヒルズボロ大惨事が見せてくれた「記憶の力」を信じる。英国サッカーチームのリバプールとノッティンガムフォレスト間の競技場で鉄条網が崩壊し、観衆97人が圧死した惨事は、遺族とサッカーファンの努力で27年ぶりに圧死事件の責任者を究明し、処罰した。

最初は、事件が過熱した応援熱気のためだと観衆に責任を問うたが、結局、安全管理を疎かにした警察と球団の過ちであることが明らかになった。この過程でスポーツ競技の観衆管理体系が改善されたことは言うまでもない。

問題を忘れないように記録して記憶する時、変えることができる。

/イ・ヒョンソ 亜洲大学スポーツレジャー学科教授

出典：<https://www.kyeongin.com/article/1722118>

## 06 連合ニュース 2024. 12. 13

### 許ジョンム「鄭夢奎公正委審査評価表・委員名簿を公開すべき」



大韓サッカー協会の次期会長職に挑戦する許ジョンム前国家代表チーム監督は、鄭モンギョ会長の再任挑戦を承認した大韓体育会スポーツ公正委員会の審査について、「公正性について深刻に考えざるを得ない」と批判した。

許前監督は13日、声明を出し、「(李ギフン大韓体育会長と鄭会長が) 各々3選、4選に各々挑戦しても良いほど公正で正しく協会を導いてきたのか」とし「彼らの無能と道徳性はこれ以上会長職を維持できないということを国民の大多数が知っているが、公正委員会だけは全く異なる判断をした」と指摘した。

許前監督は、体育会公正委が審査の細部内容を公開しない点と、金ビョン Chol 公正委員長が鄭会長からゴルフ接待を受けた疑惑があるという点などに言及し、「早急に審査評価表と委員名簿を公開し、国民の峻厳な審判を受けなければならない。そして問題があれば、きちんと資格を備えた委員として再び公正委を構成し、透明で公正な審査を受けなければならない」と主張した。

鄭会長は11日に開かれた体育会公正委の再任審査で承認通知を受け、4選挑戦に乗り出す資格を得た。

これで第55代サッカー協会長選挙は、鄭会長、許前監督、申ムンソン明知大学記録情報科学専門大学院スポーツ記録分析学科招聘教授の三つ巴の戦いで行われる。

サッカー協会長選挙候補登録期間は25～27日で、選挙は来年1月8日に行われる。

出典：<https://www.yna.co.kr/view/AKR20241213067200007?input=1195m>

## 市道民球団はなぜ存在しなければならないのか



元祖の市道民プロサッカー団の仁川ユナイテッドが降格された。03年に創立されて以来、21年ぶりのことだ。創立作業を主導した安ジョンボク元仁川サッカー団社長は当時、「究極的に株式市場に上場して金を儲けるサッカー団を作る」という抱負を明らかにした。記者も当時、現場で創立を見守り、少なからず期待もした。そのように韓国プロサッカー界を先導的にリードするとして抱いた大きな夢は泡のように消えた。

市道民球団はなぜ存在しなければならないのか。市道民球団のアイデンティティは何だろうか。成績が本当に全部なのか。良いことも悪いこともあるのが成績だが、そこに市道民球団が毎年運命をかけるのが正しいだろうか。成績の良い球団が無条件によくやったのなら、成績の悪い球団はなくならなければならないのか。降格されれば、昇格に失敗すれば、球団の価値は完全になくなるのか。

市道民球団は成績に劣らず、もしかすると成績よりも重要な価値を自ら作らなければならない。多様な人々で構成された地域民がサッカー団を中心に和合できる。サッカー団が見せてくれた挑戦精神が、地域住民に勇気と感動を与えることもできる。毎瞬間噴き出すエネルギーに地域民が泣いて笑うことができる。地域で生まれた若い選手たちがすくすく育って韓国を越えて欧州で活躍する材木になることもできる。サッカーの試合を見に地域に来る外部の人たちが、地域経済の活性化に貢献することもできる。サッカーチームの存在が国際的に都市の認知度を高めることができる。そのようにサッカー団が地域の象徴、市民和合の求心点、地域の心臓、地域住民の誇りとプライドになることはできないだろうか。仁川ユナイテッドのシム・チャング臨時代表は「市道民球団はサッカー以外に多くの大切な価値を持続的に実現しながら地域アイデンティティを確固たるものにし、地域民に自負心を与えなければならない」として「それが市道民球団が企業球団と差別的に追求しなければならない方向性」と話した。

国内1・2部プロサッカー団の半分以上が市道民球団だ。1年間の予算が多いところは200億ウォンを超え、少ないところも50億ウォン以上だ。予算の中で絶対比重を占めるのが地方自治体を与える補助金、すなわち税金だ。結局、市道民球団の最大スポンサーは地域住民だ。地域住民の満足度と自負心を高めるために死力を尽くさなければならないのは市道民球団の任務だ。

プロ野球のハンファは今年8位にとどまったが、ファンはホーム71試合のうち47試合で満員の観衆を記録した。水原三星は1部リーグ昇格に失敗したが、行く先々で熱烈なファン3000人以上が同行した。試合に負けても、彼らの叫びと存在感は相変わらずだった。

市道民球団の方向性は、企業球団と異なるべきだ。運営費は税金で、株主と後援会社は市民だ。高額年俸を払って完成したスター選手を迎え入れ、優勝を狙う企業球団にむやみについて行ってはならない。市道民球団は、限られた予算で市道民球団として追求する価値を変わず実践しながら、少しずつ前進しなければならない。そうするうちに機会が来れば成績にもう少し欲を出せば良い。

サッカーチームのおかげで地域住民が幸せで健康であれば、サッカーチームのおかげで自負心を感じた地域住民が一つになって再び挑戦する勇気を持つなら、サッカーチームのおかげで私たちの子供たちが元気に育ち、ヨーロッパでプレーする人材が多くなれば……。このような姿が具現されれば、サッカー団に入る税金数十億ウォン、数百億ウォンを市民が容認できるのではないのか。



出典：<https://sports.khan.co.kr/article/202412161443013?pt=nv>

## 08 週間スポーツニュース

鎮川郡、ウソク大・体育会協約し「スポーツ特化都市」造成

<https://www.hani.co.kr/arti/area/chungcheong/1173529.html>

大韓障害者体育会、来年リーグ全11種目に拡大運営

<https://www.kmib.co.kr/article/view.asp?arcid=0021275459&code=61161111&cp=nv>

亀尾市、「2024年亀尾体育有功者授賞式」成功

<https://sports.donga.com/article/all/20241217/130659111/1>

「スポーツビッグデータ専門家養成」…慶北体育会・大慶大の孫

[https://www.newsis.com/view/NISX20241217\\_0003000659](https://www.newsis.com/view/NISX20241217_0003000659)

大韓体育会、2028年全国体育大会開催地誘致申請公告

<https://www.yna.co.kr/view/AKR20241217043200007?input=1195m>

李ヨンギ大田市議員「体育発展委の指導者の処遇改善が必要」

<https://www.yna.co.kr/view/AKR20241216035500063?input=1195m>

体育公団、不法賭博根絶のための投票権健全化セミナー開催

<https://www.sportsworldi.com/newsView/20241217506269>

山清郡体育会、地域の学生たちに体育の夢をプレゼント

<http://www.gndomin.com/news/articleView.html?idxno=417339>

道峰区、ソウル市自治区初の生活体育指導者号俸制施行

<https://view.asiae.co.kr/article/2024121717092920187>

## 体育市民連帯オンライン 定期後援案内

万人が楽しむスポーツ世界、体育市民連帯が共に作ります。

私達連帯の活動に積極的に賛同していただくことを願います。



私たち体育市民連帯は体育人の権益保護と  
福祉実現のために努力しています。  
皆さんの小さな心づかいがより良い世界のための  
体育市民連帯活動に強固な土台となります。  
体育市民連帯会員として力になろうと  
される方は下の口座に後援をお願いします。

国民銀行 086601-04-095940

口座名義：体育市民連帯

オンライン定期後援は下のリンクを通じてホームページからできます。

多くの関心をお願いします。

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 孝寧路 230 スンジョンビル 407 号

Tel : 02-2279-8999、E-mail : [sports-cm@hanmail.net](mailto:sports-cm@hanmail.net) ホームページ : <http://www.sportscm.org/>

日本語訳：佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 [jr1fep@gmail.com](mailto:jr1fep@gmail.com)

週刊ニュースレターバックナンバー（資料室） <http://www.yg.jpn.org/sportscm/index.html>